

保存版

この資料はいつでも見れる所に置きましょう

持続可能な 農業経営に向けて

令和7年（2025）

JAアルプス 夏期懇談会

アルプス農業協同組合
アルプス地域営農対策委員会

「明るく元気で地域に親しまれ信頼されるアルプス農協を目指して」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

農協事業の概要について

<事業取扱高の状況>

令和7年6月末の主要事業取扱高について、貯金高は935億円で前年度同月比98.6%、貸出金は125億円で前年度同月比96.9%となっております。

長期共済保有高は2,041億円で前年度同月比95.3%となっております。

購買品供給高は18億円で前年度同月対比108%、年度計画40億円に対して進捗率45.2%となっております。また、販売品販売高は1.5億円で、前年度同月対比74.8%となっております。

今後とも、組合員の皆様、地域の利用者の皆様のご協力を宜しくお願い致します。なお、事業別の活動状況は以下のとおりです。

ア 信用事業

信用事業では、農業・暮らし・地域領域の多様なニーズに対して、組合員・利用者様の目線にたち利用者様がつながりたくなるJAを目指しています。

農業分野においては、低利な農業近代化資金や農家の経営に寄り添う担い手コンサルティングなど、農業所得向上の一端を担う取組みを実践しております。

また、暮らし分野においてはJAバンクアプリや通帳レスを中心とした様々なデジタルサービスの提供に努めております。各種ローンについては、住宅ローン、マイカーローンを中心としたJAネットローン（24時間365日受付）をお勧めしております。

その他にも、各種定期貯金、投資信託等の資産運用、年金手続など、さまざまな金融商品のラインナップを取り揃え、利用者ニーズ一人ひとりに寄り添ったご提案や相談を承っております。

イ 共済事業

JA共済では、ご契約いただいている皆様の契約内容の説明と保障点検である「3Q活動」と「安心チェック」を通して、それぞれの暮らしに寄り添う接点づくりに取り組んでおります。また、様々なリスクの変化に対応する保障の最新、最適なサービスを「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障としてご案内させていただいております。

ライフステージに応じた保障をご提案する「生命共済（ひと保障）」、火災や台風だけでなく、地震や水害への対応もできる「建物更生共済（いえ保障）」、自動車事故による賠償、ケガ、修理に備えた「自動車共済（くるま保障）」、農業を取り巻く様々なリスクを幅広く保障する「農業者賠償責任共済（農業保障）」など、これからもJAとして組合員、利用者の方々に安心と満足の保障を届ける活動に取り組んでまいります。

ウ 購買事業

農業の生産コスト低減のため、肥料・農薬の大型規格や担い手直送の拡充をすすめてまいりました。各位には更に生産資材の安定供給の確立をすすめるために、予約注文の向上にご協力ください。「予約」こそ「JAグループ」の強みです。

展示会は1カ所、1日開催となりましたが、内容は濃く、多くの組合員・地域の方々と交流できる機会となっております。

今後更に経済事業への理解と利用の拡大を目指します。

エ 販売事業

生産者所得の向上を目指し、生産コストに見合う米穀販売に努めてまいります。また、高温耐性品種「富富富」の生産拡大を推進するために滑川ライスセンターの施設整備が完了し今年より稼働致します。

今後とも生産者の皆さまには1袋でも多く農協へ出荷いただき、需要者への安定供給と米産地の確立にご協力をお願い致します。

オ その他

農産物直売所「JA アルプス 味覚の郷」では、旬の野菜や果物、加工品など、地元の農産物や加工品の販売を行っております。最新情報は SNS などでご入荷情報やイベント情報を発信し、幅広い世代のお客様ににぎわっています。

< ゆうゆう館について >

「ゆうゆう館」での葬祭取扱件数は6月末で42件と管内多くの方々からご利用いただいております（前年同月35件）。家族葬等にも対応できる小ホールもございますので、葬儀・法事の際には「ゆうゆう館」のご利用を宜しくお願い致します。

< JAファームアルプスについて >

令和7年度受託面積は120haとなっております。水稻の品質・単収向上を重点に取り組んでおります。今年度の主な作付計画内容は以下のとおりとなっております。

【主な作付】

- ・水稻 70ha（富富富 30ha・コシヒカリ 30ha・てんたかく 10ha）
- ・大麦 15ha
- ・園芸 0.2ha（しょうが 0.1ha・他 0.1ha）

● JA アルプスの自己改革 ●

JA アルプスでは組合員との対話に基づいて【農業所得の増大・農業生産の拡大】
【地域の活性化】【経営基盤の確立・強化】に取り組んでおります。

事業活動による、お宅訪問や懇談会など、さまざまな接点を通じ、皆さんが日々の生活の中で感じている悩みや、JAへの意見・要望を、しっかりキャッチし、これからの事業や運営に反映させてまいります。

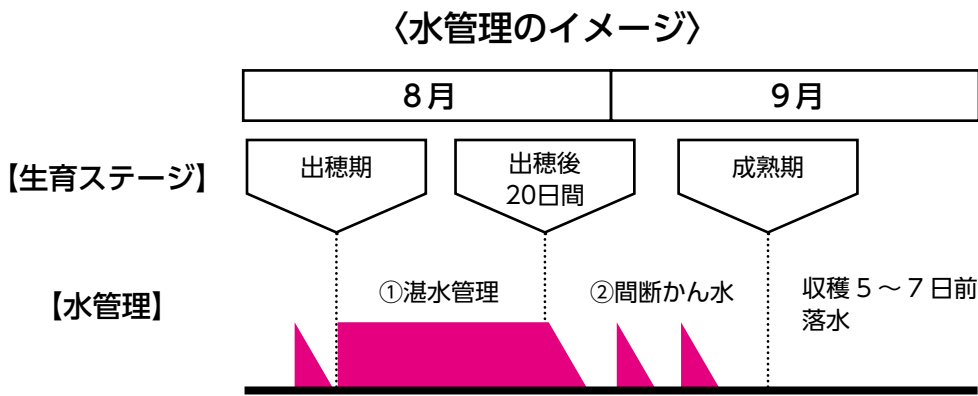
この活動により皆さんにとっていまよりもっと身近で地域に根付いたJAを目指してまいります。



総合事業と協同活動に取り組むことで、SDGs 達成への貢献を目指します。

収穫までの重点作業ポイント

POINT 01 出穂後の水管理の徹底



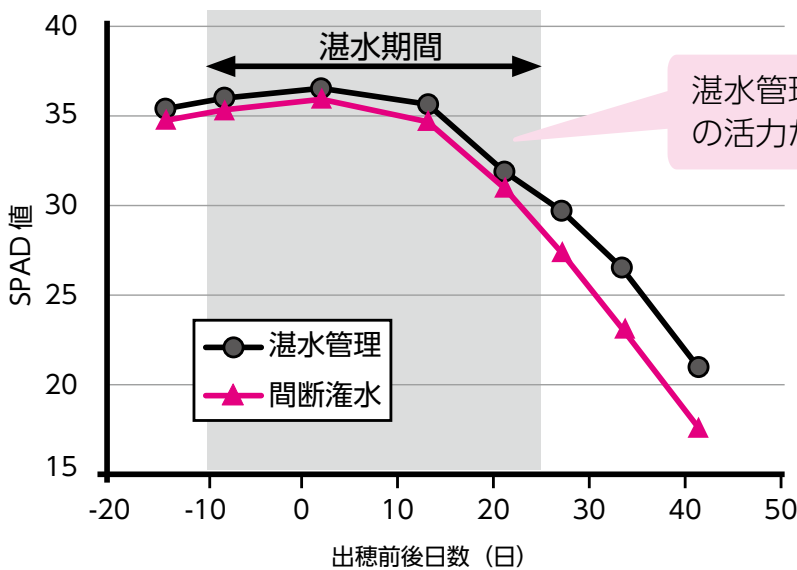
水管理の徹底をお願いします！



1. 出穂後 20 日間の湛水管理

この時期の湛水管理は、①稲の葉からの水分蒸散を十分に促し気化熱で圃場内の温度上昇を抑える、②葉色の維持など稲の活力が後半まで高く維持される(図1)、等の効果があり、その結果、登熟が良くなり、収量・品質の向上を図ることができます。

出穂後 20 日間の湛水管理を確実に実施しましょう。



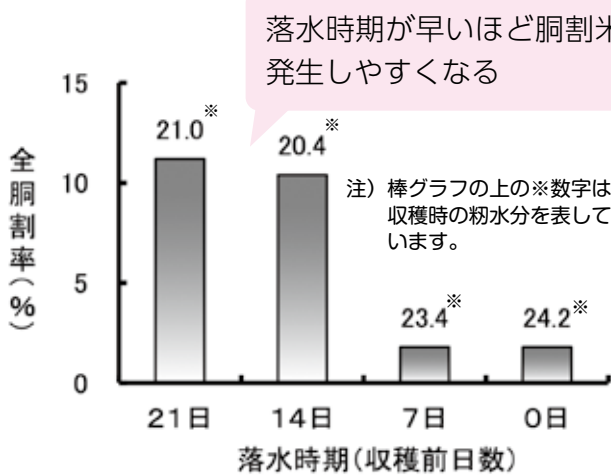
湛水管理により、稲体の活力が維持される

- 水深を 3 cm 程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- 水持ちのよい圃場では、適宜、水の入れ替えを行う。

図1 湛水管理を実施した場合の葉色の推移 (H20 農研)

2. 収穫5～7日前までの間断かん水

収穫期直前まで間断かん水を実施し、適正な土壤水分を保つことで、収穫間際までの稲体活力を維持し、胴割粒の発生を防ぎます（図2）。収穫5～7日前までの間断かん水を励行しましょう。



- ・「3 cm程度入水→自然落水→(足跡に水がなくなったら)入水」を繰り返す
- ・フェーンが予想される場合は、あらかじめ湛水する。

図2 落水時期と胴割米発生の関係 (H4 農試)

YouTube でチェック▶
[登熟期間の水管理]



「出穂後 20 日間の湛水管理」・「収穫の 5～7 日前までの間断かん水」
を徹底して高品質で良食味なアルプス米の生産に努めましょう！！

みんなで協力し、限りある用水を有効に利用しましょう。

POINT 02 適期収穫・適正な乾燥

1. 適期収穫の励行 ～刈遅れによる胴割米の発生防止～

○収穫時期は籾の黄化程度で判断し、適期内に刈取りが終了するよう努めましょう。

登熟期間の 気温	籾黄化率	
	開始時	終了時
通常年	85%	90%
高温年	80%	

⚠ 登熟期間の気温の状況により、開始時期の判断が変わるので注意！

○ヤケ米発生防止のため、刈取後4時間以内に乾燥機に入れ送風してください。

地域により成熟期が違うので、各地区の刈取適期表示札を参考に、収穫してください。



▲ YouTube でチェック
[水稲収穫作業のポイント]



点線内の籾が黄化した時が
籾黄化率 85%

2. 乾燥作業 ～適切な作業で胴割米・過乾燥米の発生防止～

○乾燥開始時の籾水分を確認し、下表を参考に乾燥してください。

乾燥開始時の籾水分	乾燥作業の注意点
25%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3時間の通風乾燥を行い、送風温度を機種標準より下げて乾燥しましょう。 ・ 籾水分 17% 程度で一度乾燥を止め、半日程度休止した後に再乾燥（2段乾燥）しましょう。
20%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圃場内での胴割粒の発生が懸念されるため、送風温度を下げゆっくり乾燥しましょう。



▲ YouTube でチェック
[乾燥作業のポイント]

○籾水分 17% 以下になったら、手動水分計でこまめに水分をチェックし、過乾燥を防ぎましょう。

○下表を参考に、青米の混入状況に応じ、乾燥機を停止してください。

玄米 100 粒中の青米粒数	乾燥機停止時の玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
5 粒以下	15.0 ～ 15.5%	乾く (－ 0.5%)
6 ～ 10 粒	15.5 ～ 15.0%	変化なし
11 粒以上	14.0 ～ 14.5%	もどる (+ 0.5%)



胴割米は絶対にださない！

3. 籾摺り選別作業 ～丁寧な作業で高品質仕上げ～

○フルイ目は **1.9 ミリ** を使用し、選別を徹底しましょう。

○ゴムロールが減ったり、硬くなったら交換しましょう。

○籾摺りは籾の温度を常温までさまし、水分を確かめてから行いましょう。



▲ YouTube でチェック
[調製作業のポイント]

令和 8 年産米の高温耐性品種の作付を拡大しましょう。

「コシヒカリ」は、近年の夏期の異常高温条件下では白未熟粒が多発するとともに、作付面積が大きいと収穫作業が集中し、刈遅れによる胴割米が発生します。

高温耐性品種の「富富富」、「てんたかく」、「てんこもり」の作付拡大を図りましょう。

○高品質・低コスト生産に、
カントリーエレベーターを積極的に活用しましょう！



秋の農作業事故防止



秋の農繁期には、コンバインによる事故が毎年多く発生します。
余裕をもった作業計画を立てるとともに、事故防止対策を徹底しましょう。

① 農作業は計画的に

(ア) 必ず始業点検を行う。



給注油・点検時は、
エンジンを停止する。

(イ) 十分な休息をとり、ゆとりをもつ。
(ウ) 身軽で安全な服装。



枕脱こくは、手を巻き込まれないように
注意する。(首にタオルをまかない)

② コンバイン操作

(ア) トラブル除去はエンジンをとめて。



作業中は、カッター等の
部分を鎌等で掃除しない。

(イ) 移動や、作業中は特に注意。



枕急傾斜・溝越え・高いアゼは歩み板
を使用し、低速でアゼに対して直角
に出入りする。

③ 乾燥作業

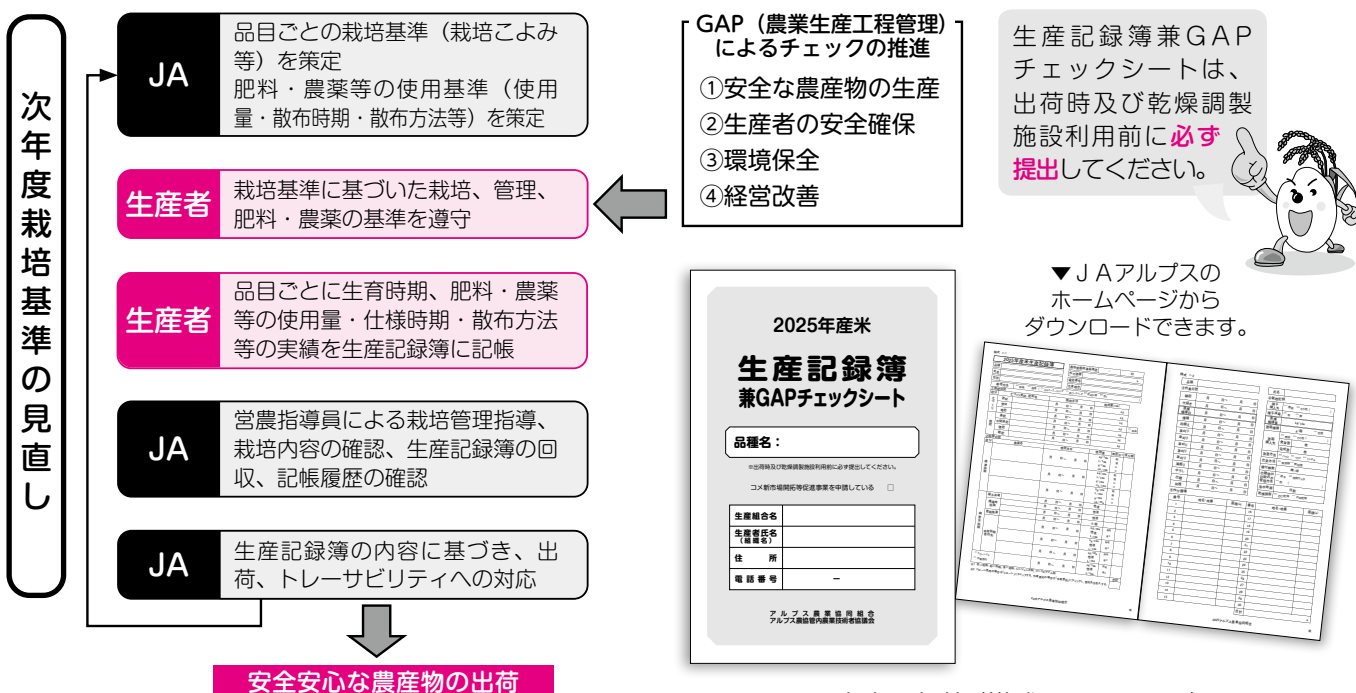
(ア) 事前の点検整備を必ず行う。
(イ) 火災は絶対に出さない。
(ウ) 乾燥機と周辺はきれいに。



生産記録簿兼GAPチェックシートの提出

アルプス農業協同組合では、安全・安心な農産物を生産するため、生産記録簿兼GAPチェックシートの
記帳徹底を推進しています。さらに、“より良い農業”を未来につなぐための、富山県適正農業規範に基づく
適正な農業生産活動の実践（通称：とやまGAP）を取り入れ、生産者自らが安全確保と自然環境に配慮した
農業生産活動が行えるよう取り組んでいます。

生産記録簿記帳の流れ



▲生産記録簿（様式1-1、1-2）

異常気象に打ち勝つ土づくり

土づくりには以下の効果があります。

- ①透水性・保水性・通気性が改善し根張りが良くなり、気象変動に強くなる。
- ②腐植が増加し肥料分の持ちが良くなり、生育が良くなる。
- ③土壌中の良い微生物が増え、生育が良くなる。

来年の米づくりや大豆・大麦生産などのため、秋からしっかりと土づくりを行いましょう。

1. 土壌改良資材の継続的施用

- ・土壌改良資材の施用により、気象変動の大きい年でも稲体活力を維持し、品質低下を最小限に抑え1等米比率が高くなる傾向が見られます（図1）。
- ・資材の施用効果を再度確認し、圃場にあった資材を散布して、効果的な土づくりに努めましょう（表1）。

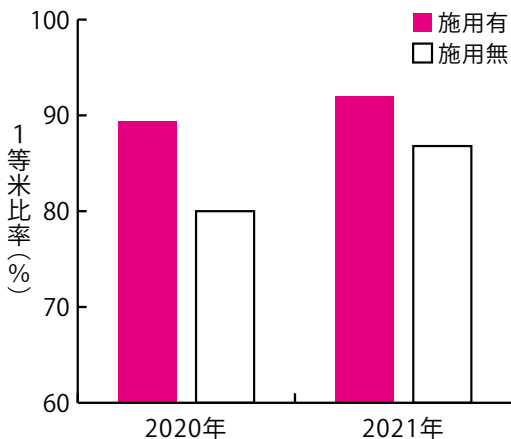


図1 土壌改良資材施用の有無と1等米比率の関係

注) アルプス農協管内生産記録簿より

表1 土壌改良資材の施用効果と標準施用量

資材名	施用効果	標準施用量 (10a当たり)
粒状ケイカル	pH矯正、根腐れ抑制、秋落ち防止、有機物の分解促進	200kg
元 気	総合的土づくり資材、ケイ酸が流亡しないので秋施用可能	100kg
シリカロマン	酸度矯正に有効、ケイ酸・リン酸・苦土・鉄が一度に散布可能	100kg
シンキョーライトP	ケイ酸・加里・鉄等の天然ミネラルが豊富、保肥力改善効果	100kg

2. 秋耕し

(1)稲わらには窒素分やケイ酸分が含まれます。早めにすき込みましょう。

- ・水稻の収穫後は、ひこばえが出穂する前で、**気温が高い9～10月までに深さ10cm程度の浅めの秋耕しを行い、稲わらや籾殻をすき込みましょう。**
- ・秋耕後は、排水溝の設置と深く掘り下げた排水口への連結を行い、**圃場の乾きを促進し、稲わらや籾殻の腐熟を図りましょう。**

(2)もみ殻も有効なケイ酸分資材として活用しましょう。

- ・もみ殻の約2割はケイ酸分で、水稻単収540kgの場合、そのもみ殻を全て圃場に戻すとケイカルを約100kg散布するのと同じ効果が期待できます。



ロータリによる秋耕し

3. 春耕しでの深耕しによる根域の拡大

- ・作土層が浅いと根域が狭くなり、根が十分に伸長できず、高温や日照不足等の異常気象の影響を受けやすくなります。そのため、十分に登熟できず、収量や品質の低下につながります。
- ・作土深は 15cm以上を目安に耕起しましょう。



スタブルカルチによる深耕し

【深耕しの方法】

- ・ロータリによる耕起作業をゆっくりと行う。
- ・秋耕しと春耕しの2回掛けを実施する。
- ・プラウやスタブルカルチ等を活用する。



◀ YouTube でチェック
【土づくりについて】

4. 有機物の施用で地力向上

(1) 堆肥は土づくりに最適な資材です。秋施用で地力アップにつなげましょう。

- ・堆肥は、有機質資材としての効果と窒素成分やリン酸、加里が含まれているために、肥料としての効果が期待できます（表1）。
- ・製造方法や腐熟程度等で成分内容が異なるため、確認して施用しましょう。
- ・一度に大量に施用するのではなく、継続して、適量を施用しましょう。
- ・稲わらやもみ殻をすき込むと、地力向上効果がさらに高まります。

表 1 施用の目安 (10 a 当たり)

資材名	秋施用	春施用
発酵鶏ふん	100～150kg	75～100kg
牛ふん堆肥	1～2 t	1～2 t
豚ふん堆肥	1～2 t	0.5～1 t

※春施用の場合は基肥窒素成分を 1～2kg/10a 減肥してください。



マニアスプレッダによる堆肥散布

(2) 緑肥作物の栽培・すき込みをすすめましょう。

- ・堆肥の確保や施用が困難な場合は、緑肥作物を栽培してすき込むことで土壌中の有機物を増やすことができます（表2）。
- ・水稻、大麦、大豆に緑肥作物を組み合わせて、効果的な土づくりを行いましょう。

表 2 主な緑肥作物の種類

項目	クロタラリア	ヘアリーベッチ
生育特性	マメ科1年生〈夏作物〉	マメ科1年生〈冬作物〉
	○草丈：1.5～2 m ○生草量：4 t/10a 程度	○草丈：1.5 m (高さは 40cm 程度で横に伸びていく)
播種時期	6月上旬～8月上旬	水稻刈取り後～10月中旬
播種量	5～6 kg /10a	3～4 kg /10a
すき込み時期	普通種：播種後 50～70 日 広葉種：播種後 60～80 日	水稻代かきの2週間前まで 大豆播種の2週間前まで

『積極的な土づくり』で高品質な農産物を生産しましょう！



令和7年産米の出荷にあたって

『JA米』ブランドの要件

1. 栽培基準に基づき、**生産記録簿が提出・確認された米**
2. 銘柄が確認できた種子により生産された米
3. 登録検査機関において検査を受けた米



1 品質管理の改善

1. 過乾燥米、高水分米の発生防止 (目標水分 14.5 ~ 15.0%)

- (1) 仕上げ乾燥 14.5 ~ 15.0% を、徹底してください。最近の無洗米の普及により、15.1%以上の米は返品対象となっております。また、過乾燥米は胴割米の発生及び食味の低下の原因となっております。
- (2) 高水分米は、保管上の品質の低下とカビの発生原因となっております。
- (3) ムラ乾燥や戻り乾燥の防止に注意し、粳摺り前にもう一度水分の測定を行い、適正水分に仕上げてください。

2. 着色粒の混入防止

○被害が確認された圃場の粳、玄米については、別乾燥・別調製・別出荷を行ってください。
着色粒の検査規格は、
1等で0.1%
(目安として見取り皿(カルトン)に1粒まで)
2等で0.3%
(目安として見取り皿(カルトン)に3粒まで)
消費者からは、精米に黒い斑点が残るため、着色粒の混入が非常に嫌われています。

※毎年、虫の付いた紙袋・フレコンが混入し、入庫に支障をきたすことからフレコンは全量農協へ返却していただき、紙袋の保管に当たっては、十分注意をお願い致します。

3. 玄米の調製について

- 選別を徹底のため、フルイ目は1.9ミリを使用してください。
- 調製等での肌ズレ米は、保管中に品質低下が一段と進むことから、十分注意して調製してください。
 - (1) 粳の混入防止
 - (2) 肌ズレの防止
 - (3) 害虫等の混入防止
 - (4) 未熟粒の混入防止

4. 異品種混入防止 (コンタミ)

米の販売が、品種銘柄中心となっていることや、JAS法（農林物資の規格化及び品種表示の適正化に関する法律）の施行などにより、産地から出荷する米穀については「表示銘柄以外の混入のない米穀」であることが必須となっております。

5. 石、金属片、異物等の混入防止

- ガラス片・種子（クサネム、稲こうじ）・石等の混入があると消費地からの返品やクレームの原因となっております。
- (1) 石、金属片は混入に注意してください（圃場内の石、空ビン、空カンを除去する）。
 - (2) 害虫、ねずみの糞等の混入に注意してください。
 - (3) 種子を付けた雑草の抜き取りを徹底してください。

2 適正量目の確保及び包装の記載事項について

1. 適正量目の確保

- (1)検定済のハカリを使用してください。
- (2)自動計量器を使用する場合は、最初の計量の米は検定済のハカリで量目を確認してください。
- (3)規定量目不足について流通業者等から指摘を受けているので注意してください。

紙袋	皆掛重量 30.5kg
フレコン	正味 1,080.0kg + 余マス 6.0kg + 風袋フレコン重量

※飼料用米のフレコン重量は、営農経済センターに確認してください。

2. 包装の記載事項の確認

- (1)検査時における表示の確認段階で、記載漏れや誤記載が見受けられますので注意してください。
- (2)商品の内容証明事項であり、円滑な検査及び取引に支障をきたすので注意してください。

令和7年産米の検査において登録検査機関のアルプス農業協同組合で検査を行う産地品種銘柄は、下記のとおりです。

なお、下記に記載されていない銘柄・品種については、事前に確認してください。

〈うるち〉

必須銘柄

コシヒカリ てんこもり てんたかく とがおとめ 日本晴
ハナエチゼン ひとめぼれ フクヒカリ

選択銘柄

春陽 どんとこい みつひかり ミルキーQueen あきたこまち
赤むすび 黒むすび あきだわら おわら美人 つくばSD1号・2号
夢ごごち 花キラリ 富富富 ゆうだい21 つきあかり
あきさかり にこまる 縁結び

〈もち〉

必須銘柄

こがねもち 新大正糯 とみちから らいちょうもち

選択銘柄

カグラモチ

銘柄名については、上記に記載してあるとおりに正確に記入してください。

生産記録簿は必ず提出ください。提出がない場合は、JA米となりません。

令和7年度 検査場所(保管倉庫)について

米の品質管理の観点から、低温倉庫を有効活用し主食用米を集中保管しております。

今年も、下記のとおり保管倉庫にて検査を実施致します。

- 1、出荷申込書(集荷・自己搬入)の提出は、出荷日前日の午前8時30分から正午までにお願い致します。
 - 2、集約倉庫へ自己搬入される出荷者の皆様は、午前8時30分から正午までに搬入をお願い致します。
- ※ 集約倉庫へ自己搬入できない生産者の方においては、地区営農指導員へご確認ください。

地域	地 区	検査倉庫	フレコン検査
立	利 田	利 田 倉 庫	
	大 森		
	上 段	下 段 倉 庫	
	東 谷		
	立 山		
	下 段		
	釜 ケ 淵	高 野 倉 庫	
五 百 石 (自己搬入) (集荷)			
高 野			
新 川			
山	弓 庄 (立 山)	新 川 倉 庫	○
	舟 橋	舟 橋 倉 庫	
上 市	弓 庄 (上 市)	上 市 1 号 倉 庫	
	上 市		
	大 岩		
	白 萩		
	柿 沢	宮 川 2 号 倉 庫	
	宮 川		
南 加 積	中 加 積 倉 庫		
相 ノ 木			
山 加 積			
中 加 積			
西 加 積		東 加 積 倉 庫	
東 加 積			
早 月 加 積		浜 加 積 倉 庫	
川 浜 加 積			
北 加 積			
滑 川 フ レ コ ン	大 富 倉 庫	○	

アルプス農業協同組合では、今年もアルプス米全量集荷運動を実施しています。

令和6年産米 クレーム事例一覧

品種	荷姿	クレーム内容	詳細	対応
コシヒカリ	紙袋	虫混入	販売先にてコクゾウムシが確認され返品となった。	至急代替品にて対応した。返品された製品と倉庫内に保管している産米全量再調製を行い、劣化が進んでいる製品は廃棄処分とした。
コシヒカリ てんたかく てんこもり	フレコン	虫混入	販売先にてメイガの幼虫が確認され返品となった。	再調製を行い、品質確認後再出庫した。

異物混入や高水分米の出荷は、多額の損害賠償請求の原因となる恐れがありますので、品質管理には十分注意するようお願い致します。

- ・作業所や乾燥、調製機械の清掃は入念に行う。
- ・紙袋やフレコンの保管場所は、清潔に保ち、
- ・調製機械の周辺には、不必要なものは置かない。
- ・未使用フレコンは（次年度用に清掃するため）必ず農協へ返却する。
- ・水分計の点検は、必ず行う。
- ・乾燥調製は、慌てずに丁寧に行う。

貯穀害虫について

貯穀害虫は、保管中の穀物を食害する厄介な害虫です。特に米に発生しやすいのがコクゾウムシです。

コクゾウム類は、オサゾウムシ科に属する昆虫で、イネ科穀物の有名な害虫です。象のような口で穀物に穴をあけて産卵し、幼虫は穀物を食べて成虫になります。高温・多湿を好み短時間で大量発生をします。

貯穀害虫発生の抑制について

成虫発生期間	3月から11月中旬
--------	-----------

JAでは、くん蒸剤処理などにより防除・駆除を行っています。しかし、個人宅では薬剤による防除は困難なため、米保管場所・穀物乾燥機等の清掃を徹底し、餌となる穀物やその屑など、害虫の発生源を取り除くことが繁殖を抑制する点で重要です。

また、米を常温で保管すると、外気温の上昇に伴い、害虫の活動が活発になってくるため、冷蔵庫等で15℃くらいの低温保管をすることで、害虫の発育や繁殖を抑えることができます。

【米穀出荷契約書より抜粋】
(契約不適合)

第5条 甲は乙に販売委託する米穀について、甲に起因する種類、品種、品質または数量に関する契約不適合（量目不足、種類・品種違い、異臭、石、金属片、虫等混入、カビ等の被害を受けた米穀の混入等）が発見された場合、甲は乙による不足分または代替品の出荷請求および事故処理費用等損害賠償請求に応じる。

農作業中の熱中症対策について

農作業中の熱中症による死亡事故は、7、8月に集中

熱中症対策のポイント

1. 熱中症の予防方法 (例)

気象情報 (暑さ指数) や体調の事前確認

◇農作業の前に気象情報や「暑さ指数 (WBGT)」をチェックし、気温が高くなることが予想される場合は、激しい作業を避ける。

環境省 HP「熱中症予防情報サイト」 <https://www.wbgt.env.go.jp/>
※ MAFF アプリとの連携も開始

作業環境の改善

◇直射日光が当たる作業場は日よけを設置する。

◇風通しの悪い作業場は作業前に窓を開けて風通しを良くしておく。

2. 農作業時の熱中症対策

- ① 日中の気温の高い時間帯を外して、作業を行う。
- ② 屋外の作業では帽子や吸汗速乾性の衣服を着用する。
- ③ 屋内の作業では必要に応じ送風機やスポットクーラーなどを利用する。
- ④ のどが渴いてなくても 20 分おきに休憩し、毎回コップ 1～2 杯以上を目安に水分補給する。
- ⑤ 作業はできるだけ複数で行い、時間を決めて水分・塩分補給の声かけや体調に異常がないか確認し合う。



3. 熱中症が疑われる場合の処置方法

その1 体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断する

熱中症の症状と気付かないうちに重篤になるケースも！

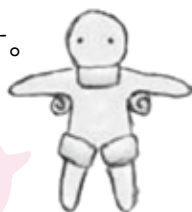
○熱中症による代表的な症状

- 手足のしびれ、冷え ●体がだるい
- めまい、吐き気 ●体が熱い ●汗をかかない
- 激しい頭痛 ●意識障害 ●まっすぐ歩けない



その2 応急処置を行う

- ① (日陰などの) 涼しい場所へ避難する。
- ② 服をゆるめて風通しをよくする。
- ③ 水をかけたり、扇いだりして体を冷やす。
- ④ 水分や塩分を補給する。



脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的です

その3 病院で手当を受ける

意識がない場合や自力で水が飲めない場合は、速やかに病院で手当を受ける。

熱中症対策に取り組みましょう



アルプス農業協同組合

◆ 相談窓口・連絡電話番号表 ◆

〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉3番地3
 TEL: 076-472-1222(代) FAX: 076-472-2130
 ホームページ: <https://ja-alps.jp/>

JAアルプス ☎ (076) 令和7年7月末現在

相談問合せ事項	部署名	電話番号	相談問合せ事項	部署名	電話番号
営農	営農部 営農企画課	472-5480	共済	金融共済部 共済課	472-5488
	営農部 販売施設課	472-5591		金融共済部 共済普及課	472-5589
	立山営農経済センター【営農】	462-9301	融資	金融共済部 融資資金課	472-5472
	上市営農経済センター【営農】	472-5519	事故	自動車事故受付	472-5488
	滑川営農経済センター【営農】	475-6900		サポートセンター	時間外事故受付 24時間 365日対応
農業資材の注文販売・配送	経済部 農業資材課	472-5572	事故等	フリーダイヤル 0120-258-931	
	立山営農経済センター【配送】	463-5523		レッカー等	フリーダイヤル 0120-063-931
	上市営農経済センター【配送】	473-2766		農機具の販売・修理点検等	立山農機センター
	滑川営農経済センター【配送】	475-0071	滑川農機センター		475-1261
米の対応 籾の乾燥・調製	立山カントリーエレベーター(年間)	463-1143	自動車の販売・修理点検等	アルプス車両センター	475-1601
	滑川ライスセンター(秋のみ)	471-2140		オートパルアルプス	475-4563
	上市乾燥調製施設(年間)	472-3404	燃料セルフスタンド	カーパーク立山給油所	463-0405
野菜の集荷・選別・加工	立山ネギ集出荷場	463-5194		カーパークつるぎ給油所	472-1224
	上市野菜集出荷場	473-0145		ユー・スポット滑川給油所	475-1551
	滑川野菜集出荷場	471-2144	ガス	ガスセンター(全農とやま)	463-1132
直売所	農産物直売所JAアルプス 味覚の郷	462-1012	支店名		電話番号
電気・住設	経済部 生活総合課	472-6666	たてやま支店		463-0560
生活指導・人間ドック	経済部 生活総合課	472-0581	上市支店		472-0580
御葬儀・御法要	アルプスホールゆうゆう館	473-9046	なめりかわ支店		475-0138
	フリーダイヤル 0120-456-897		舟橋ふれあいセンター		464-1113

農業関係の関係機関		電話番号	農業関係の関係機関		電話番号
立山町役場	農林課(農政係)	462-9973	富山農林振興センター	滑川・上市班	444-0413
上市町役場	産業課(農政地籍班)	472-2503		立山班	444-0410
滑川市役所	農林課	475-1443	富山県農業共済組合	富山地域農業共済センター	429-5006
舟橋村役場	生活環境課	464-1121(代)			



▲Instagram



▲HP